

「乳児の股関節脱臼の見落としゼロを目指す異常判別 AI とコミュニティスクリーニングシステムの開発：全国調査」調査結果概要報告書

2023 年 5 月 2 日

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻
吉岡京子・本田千可子・松本博成・稲垣安沙

日本の新生児や乳児の股関節脱臼（以下、股関節脱臼）の発生率は 0.1～0.3%ですが、2019 年度の山崎らの厚生労働科学研究で見落としや発見遅延事例が全国的に増加傾向と指摘されています。国は 2021 年の「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針」で、乳幼児の股関節脱臼早期発見のための環境整備を優先課題に挙げていますが、スクリーニング体制の整備は十分進んでいません。

地方自治体の実施する新生児訪問や乳児健診は、股関節脱臼を早期発見する重要な機会です。保健師や助産師（以下、地域看護職）はその有無を徒手的にスクリーニングしていますが、その標準化やデータ化は行われておらず、個人の経験と勘に依拠しているのが現状です。折しも団塊世代の大量退職による技術伝承の危機と、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い臨地実習や新生児訪問の経験が乏しい新人教育の課題が重畳し、股関節脱臼が見落とされる危険が高まっています。また、地域看護職は家族歴や大腿部の非対称なしわ等のリスク因子の観察を行い、おむつのあて方や衣類調整等を予防的に指導しています。しかし、地域看護職がこれらの指導をどの程度実施しているかという実態は不明です。

そこで本研究では、地方自治体における股関節脱臼のスクリーニング方法に関する実態解明を目的として、母子保健担当の保健師の方に調査を行いました。今回の調査実施にあたって、年度末の大変ご多忙のところご回答くださった多くの皆さまに、心よりお礼申し上げます。

調査実施概要

目的：地方自治体における股関節脱臼のスクリーニング方法に関する実態を把握すること。

調査対象と調査方法：全国の市区町村の母子保健担当保健師を対象とし、自記式 WEB アンケートの URL を郵送した。

調査内容：別添「調査票」参照

調査期間：2023 年 2 月 16 日頃～2023 年 3 月 31 日

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施したものです。なお、この研究に関する費用は、文部科学省 AI 等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業「乳児の股関節脱臼の見落としゼロを目指す異常判別 AI とコミュニティスクリーニングシステムの開発」（研究代表者：吉岡京子）から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

本報告書には調査結果の概要（基礎集計）を掲載しており、詳細な分析結果については今後、学会・論文発表の形で報告いたします。ご質問・ご不明点等ございましたら、当教室までお問い合わせください。

調査対象と回収率

回収数	市区町村数		回収合計	出生数	
	調査対象※1	回収率		調査対象※2	回収割合
436	1737	(25.1%)	300,882	830,322	(36.2%)

※1 特別区、中芸広域連合を含む。

※2 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和3年）

基礎集計

問1 調査回答同意

問2 自治体名（非公開）

問3 乳児全戸訪問を実施している職種を教えてください [複数回答]

	度数	(%)
保健師	410	(94.0)
助産師	243	(55.7)
看護師	66	(15.1)
民生・児童委員	27	(6.2)
その他の非医療職（具体的に）	71	(16.3)
合計	436	(100.0)

あなたの自治体で1歳までに実施する訪問事業や健診のうち、出生児全員を対象とした股関節脱臼の一次検診（チェック）の機会についてご回答ください（異常疑いの場合の医療機関での精密検査は除きます）

問4

	度数	(%)
股関節検診を実施する機会がない	4	(0.9)
新生児訪問	249	(57.1)
4か月健診	376	(86.2)
6-7か月頃に行う健診等	97	(22.2)
9-10か月頃に行う健診等	117	(26.8)
1歳頃に行う健診等	26	(6.0)
委託分については不明	5	(1.1)
その他	67	(15.4)
合計	436	(100.0)

各健診等において、股関節脱臼のリスク要因として、次の項目を確認していますか。実施者は問い

問5 ません[複数回答]

(問4で選択した機会についてのみ回答)

a. 新生児訪問

	度数	(%)
股関節開排制限 (開排角度)	232	(93.2)
大腿皮膚溝または鼠径皮膚溝の非対称 (しわの数)	212	(85.1)
家族歴 (血縁者の股関節疾患)	104	(41.8)
女兒	130	(52.2)
骨盤位分娩	111	(44.6)
クリック音の有無	120	(48.2)
出生した時期 (寒い時期)	58	(23.3)
向き癖	123	(49.4)
合計	249	(100.0)

b. 4か月健診

	度数	(%)
股関節開排制限 (開排角度)	352	(93.6)
大腿皮膚溝または鼠径皮膚溝の非対称 (しわの数)	324	(86.2)
家族歴 (血縁者の股関節疾患)	207	(55.1)
女兒	228	(60.6)
骨盤位分娩	189	(50.3)
クリック音の有無	228	(60.6)
出生した時期 (寒い時期)	85	(22.6)
向き癖	148	(39.4)
合計	376	(100.0)

c. 6-7カ月頃に行う健診等

	度数	(%)
股関節開排制限 (開排角度)	81	(83.5)
大腿皮膚溝または鼠径皮膚溝の非対称 (しわの数)	68	(70.1)
家族歴 (血縁者の股関節疾患)	31	(32.0)
女兒	35	(36.1)
骨盤位分娩	24	(24.7)
クリック音の有無	46	(47.4)
出生した時期 (寒い時期)	17	(17.5)
向き癖	31	(32.0)
合計	97	(100.0)

d. 9 - 10カ月頃に行う健診等

	度数	(%)
股関節開排制限（開排角度）	98	(83.8)
大腿皮膚溝または鼠径皮膚溝の非対称（しわの数）	80	(68.4)
家族歴（血縁者の股関節疾患）	44	(37.6)
女兒	48	(41.0)
骨盤位分娩	36	(30.8)
クリック音の有無	60	(51.3)
出生した時期（寒い時期）	20	(17.1)
向き癖	32	(27.4)
合計	117	(100.0)

e. 1歳頃に行う健診等

	度数	(%)
股関節開排制限（開排角度）	19	(73.1)
大腿皮膚溝または鼠径皮膚溝の非対称（しわの数）	14	(53.8)
家族歴（血縁者の股関節疾患）	6	(23.1)
女兒	8	(30.8)
骨盤位分娩	5	(19.2)
クリック音の有無	11	(42.3)
出生した時期（寒い時期）	3	(11.5)
向き癖	6	(23.1)
合計	26	(100.0)

問6 股関節脱臼について医療機関へ紹介する基準がありますか？（上記チェック項目のうち3個以上、など）

	度数	(%)
ある	191	(45.8)
ない	226	(54.2)
合計	417	(100.0)
無回答	19	

問7 医療機関への紹介基準として「乳幼児健康診査身体診察マニュアル」の基準を用いていますか？

（問6で「ある」を選択した場合のみ回答）※乳幼児健康診査身体診察マニュアルでは、「①開排制限が陽性」、または「②大腿皮膚溝または鼠径皮膚溝の非対称（しわの数）、③家族歴（血縁者の股関節疾患）、④女兒、⑤骨盤位分娩のうち2つ以上該当する」場合に医療機関に紹介することが推奨されています。

	度数	(%)
この基準を用いている	162	(85.3)
これ以外の基準を用いている	28	(14.7)
合計	190	(100.0)
無回答	1	

問8 新生児訪問時、股関節脱臼予防／改善のための保健指導を実施していますか？（訪問者個人としてではなく、自治体としての実施状況をご回答ください）

	度数	(%)
実施している	208	(49.6)
一部実施している	98	(23.4)
実施していない	113	(27.0)
合計	419	(100.0)
無回答	17	

問9 保健指導の対象者を教えてください（訪問者個人としてではなく、自治体としての実施状況をご回答ください）

問8で「実施している」「一部実施している」を選択した場合のみ回答

	度数	(%)
訪問した全家庭	165	(54.8)
股関節脱臼疑い又はリスク因子のあった家庭のみ	54	(17.9)
自治体として統一した基準は決めていない	73	(24.3)
その他（具体的に）	9	(3.0)
合計	301	(100.0)
無回答	5	

問10 保健指導の内容に含まれる項目を教えてください [複数回答]

問8で「実施している」「一部実施している」を選択した場合のみ回答

	度数	(%)
おむつの当て方	242	(79.1)
抱っこの仕方	284	(92.8)
抱っこ紐の選択/使い方	173	(56.5)
衣類の選択 (小さいズボンや足の動きを妨げるような衣類は避ける)	175	(57.2)
寝かせ方 (比較的硬い敷布団に寝かすといった自然肢位を妨げない育児法)	144	(47.1)
おくるみの使用方法	120	(39.2)
その他 (具体的に)	27	(8.8)
合計	306	(100.0)

新生児訪問するスタッフへの股関節脱臼チェックのための教育・研修は実施しています

問11 か

	度数	(%)
実施していない	320	(77.7)
スタッフ全員に実施している	41	(10.0)
希望者のみに実施している	8	(1.9)
看護職 (保健師・助産師・看護師) 等の医療専門職のみに実施している	43	(10.4)
合計	412	(100.0)
無回答	24	

問12 教育内容であてはまるものを教えてください [複数回答]

問11で「スタッフ全員に実施している」「希望者のみに実施している」「看護職 (保健師・助産師・看護師) 等の医療専門職のみに実施している」を選択した場合のみ回答

	度数	(%)
リスク因子確認のための手技 (開排制限チェックの方法など)	70	(76.1)
股関節脱臼のリスク因子について	74	(80.4)
その他 (具体的に)	6	(6.5)
合計	92	(100.0)

問13 あなたの自治体では、股関節脱臼の一次検診のために、超音波検査を導入していますか (異常疑いの場合の医療機関での精密検査は除きます)

	度数	(%)
導入している	10	(2.4)
導入していない	400	(97.6)
合計	410	(100.0)
無回答	26	